



代表質問するささい茂智 12月7日 県議会本会議場

防災対策に 女性の視点を!!

11月定例県議会
介護サービスや農業振興
など16項目 代表質問で

11月30日に始まった11月定例県議会が、12月22日に閉会し、51億3472万円の本年度一般会計補正予算案、2012～16年度の県政中期行動計画「第3次おかやま夢づくりプラン」案など48議案を可決しました。

私は12月7日の代表質問に登壇し、TPPへの参加や女性の視点に立った防災対策、介護サービスや地域農業の振興など16項目にわたり質問。防災対策では「女性の意見を普段から防災対策にしっかりと反映できるよう、防災会議への女性委員の積極登用や防災部局へ女性職員を配置すべき」と要望しました。

石井正弘知事は「県防災会議への女性委員の登用は、増員に向けて努力するとともに、防災部局への女性職員配置も含めた防災部門への女性の参画促進や男女共同参画部局との連携強化等に取り組み、女性の意見を地域防災計画に反映していく」と答弁しました。

主な質問と答弁

1. TPP への参加

TPP に関して現在考えられる県民生活、県経済への影響と知事の所見は。

→ 県経済への影響は、本県農業産出額も相当額が減少する恐れがある一方、参加しない場合は、輸出主体の企業が集積する本県の産業構造を踏まえれば、県内 GDP や雇用への悪影響が懸念される。また、生活では海外の安価で多様な商品等が増えれば消費者の選択肢が広がるとの見方もあれば、輸入食品の安全性や医療・保険制度への影響などの懸念の声もある。国からは TPP 参加への有用性について説明がなく国民的議論も尽くされていない。国において説明責任を果たしたうえで議論を尽くし、賛否を決定すべきである。

2. 東日本大震災のがれきの受入れ

被災地の復興には、がれきの迅速な処理が大前提。岡山県でも多くの自治体で受け入れてもらえるよう、

質問項目

1. TPP への参加について
2. 11 月度補正予算について
3. 第3次おかやま夢づくりプランについて
4. 防災対策について
5. 生物多様性おかやま戦略(仮称)について
6. 介護サービスについて
7. 障害のある人の雇用等について
8. 地域農業の振興について
9. 緊急輸送道路の危険箇所対策について
10. 土砂災害防止法について
11. 住宅等の耐震化について
12. 英語教育について
13. 高等学校教育について
14. 水島コンビナート総合特区について
15. 産業の空洞化対策について
16. 犯罪や事故のない社会実現プログラムについて

住民理解が広がる努力をすべきだ。
県内での受入れについての考えは。

→災害廃棄物の広域処理は、県民の安全・安心の確保が前提で、国の責任で県民が安心できる基準や方針を明確にするよう、引き続き強く求めていく。

3.生物多様性おかやま戦略（仮称）

生物多様性基本法で、地方自治体に生物多様性地域戦略の策定が求められている。現在、県は戦略の策定を進めているが、実効性ある戦略とするための策定方針や現状の取り組みはどうなっているのか。

→国家戦略や県自然保護基本計画を踏まえ、本県の生物多様性の現状と課題、絶滅危惧種など野生動植物の保護、産業ごとの多様性保全の取組等を柱とする戦略の策定に着手しており、現在、県民等意識調査や基礎調査をおこなっている。今年度末には骨子案を作成し、来年度中には策定したい。

4.地域農業の振興

めざせ J1!園芸作物ステップアップ事業は、各産地の販売額で補助率が変わるため、県戦略作物でも新しく産地を育成する場合は補助率が低く、産地育成が図りにくい。戦略作物や新規作物の産地育成にあた

っては事業の見直し等が必要ではないか。

→この事業は、本県を代表する戦略作物等の生産拡大や新品種の導入等に重点を置いて支援をしており、成果を上げている。地域での新規作物への意欲ある取り組みも、効果的な産地形成につながるよう、事業内容の充実を図りたい。

5.緊急輸送道路の危険箇所対策

県管理道路で落石等の危険箇所369箇所に対し、対策完了箇所は平成22年度末で約2割の77箇所にとどまっている。予算を拡大し、今までのペースを上回る取り組みが必要ではないか。

→危険度の高い箇所や緊急輸送道路を優先して実施しているが、対策が必要な箇所が数多いことから約2割にとどまっており、その促進は重要な課題と認識している。今後予算の一層の重点化を図り、対策を促進する。

6.高等学校教育

高等学校教育研究協議会の最終提言では、自己推薦入試は早期に進路決定する制度が増加し、落ち着いた授業ができにくくなるなどの視点から、見直しが必要とされた。具体的にどのように対応するのか。

→自己推薦は受験機会の拡大などの成果はあるが、中学校3年生の3学期の学習に大きな影響を与えるなどの課題が指摘されている。見直しにあたっては、学力の向上や中・高校の円滑な接続に資する制度とし、平成25年度末入試から新制度で実施できるよう取り組む。

7.犯罪や事故のない社会実現プログラム

第3次おかやま夢づくりプランでは、メッセージ施策の一つとして「高齢者を重点とした交通安全対策の推進」を掲げ、特に岡山モデルとして運転免許証を自主返納した高齢者にさまざまな生活支援を行う「おかやま愛カード」事業の推進を示しているが、今後の取り組みはどうか。

→11月末で交付枚数が9,200枚を超え、路線バスの運賃半額やタクシー料金の1割引きなど、1,397事業者から協賛をいただいている。運転免許証を返納された方は、歩行者・自転車という交通弱者の立場になり、代替交通手段の確保が必要となるので、歩行者、自転車利用者としての交通安全教育と、代替交通手段の確保に向けた関係機関への働きかけを強化し、事業をさらに普及したい。

ささい茂智 “プロフィール”



昭和38年10月13日 総社市生まれ（48歳）

【学歴】昭和57年岡山県立総社高等学校、昭和61年創価大学経済学部卒

【職歴】昭和61年岡山県農業協同組合中央会、平成16年参議院議員谷合正明公設秘書、平成23年岡山県議会議員初当選（岡山市中区選挙区）

【議会】環境文化保健福祉委員会委員、防災・環境対策・新エネルギー特別委員会委員

【家族】妻、一男一女、母、妹の6人

【座右の銘】初志貫徹

【趣味】スポーツ（ジョギング、軟式野球）